

三宮周辺地区のまちづくりの方向性（案）

【基本的な考え方】

- 平成7年の震災以降、都市機能の更新があまり進んでいない三宮周辺地区の再編を図り、神戸の玄関口としての新しい顔づくりを推進
- 多数の鉄道駅が集積する中心部は交通拠点としての機能を強化するとともに、誰もが安全安心に移動できるような空間づくりを推進
- 官民連携により、公共空間と民地の一体的な再編を行うことで高質で心地よい空間づくりを推進

【前提条件】

- 概ね30年後を見据えた段階的な再整備
- 既存の鉄道条件（鉄軌道や駅の位置）は現状とする

【目指すべきこと・重点的な取り組み】

- 6つの駅を1つの駅と捉えた三宮を象徴する新しい駅前空間（以下、「駅＝まち空間」）の創出
 - 歩行者と公共交通を優先した空間づくり
 - 歩行者に優しい駅前空間の実現に向けた広域的な交通体系の見直し

■バス乗降場集約や駅前広場の拡充による交通結節機能強化

- 中・長距離バス乗降場の集約および新規バスターミナルの整備
- 路上に分散する路線バス乗降場の集約配置
- 駅前広場の拡充による歩行者空間の拡大と駅周辺の歩行者動線強化
- 自転車駐車場の総合的な整備

■歩行者空間拡充によるわかりやすく安全な乗り換え動線の強化

- 既存3層ネットワークを強化するわかりやすい縦動線（ポイド）の整備
- 駅からまちへの見通しを確保

■玄関口に相応しい、公共空間と民地が一体的に

デザインされた駅前景観の創出

- 三宮の顔となる駅前景観を創出するための積極的なデザイン誘導の実施
- 玄関口に相応しいシンボルの創出

② 「駅＝まち空間」を中心とした三宮周辺地区全体の都市活力および魅力の向上

■楽しく歩ける回遊ネットワークの形成と賑わいの創出

- 徒歩圏内に点在する魅力ある賑わいスポット（北野や元町・旧居留地エリアなど）への回遊性を高める歩行者ネットワークの構築
- 市民や来街者が自由に憩い・集える滞留空間を創出
- 多様な回遊手段の確保（コミュニティサイクルなど）

■街区再編によるまちの魅力をもつ都市機能の更新

- 老朽化が進展する駅前空間街区は、街区再編も視野に入れた再開発を促進し、神戸の経済競争力や魅力をもつ都市機能を強化
- 小規模建物や老朽化の進む建物が混在するエリアは、街区単位での共同化や建替えによる豊かな都市空間を創出

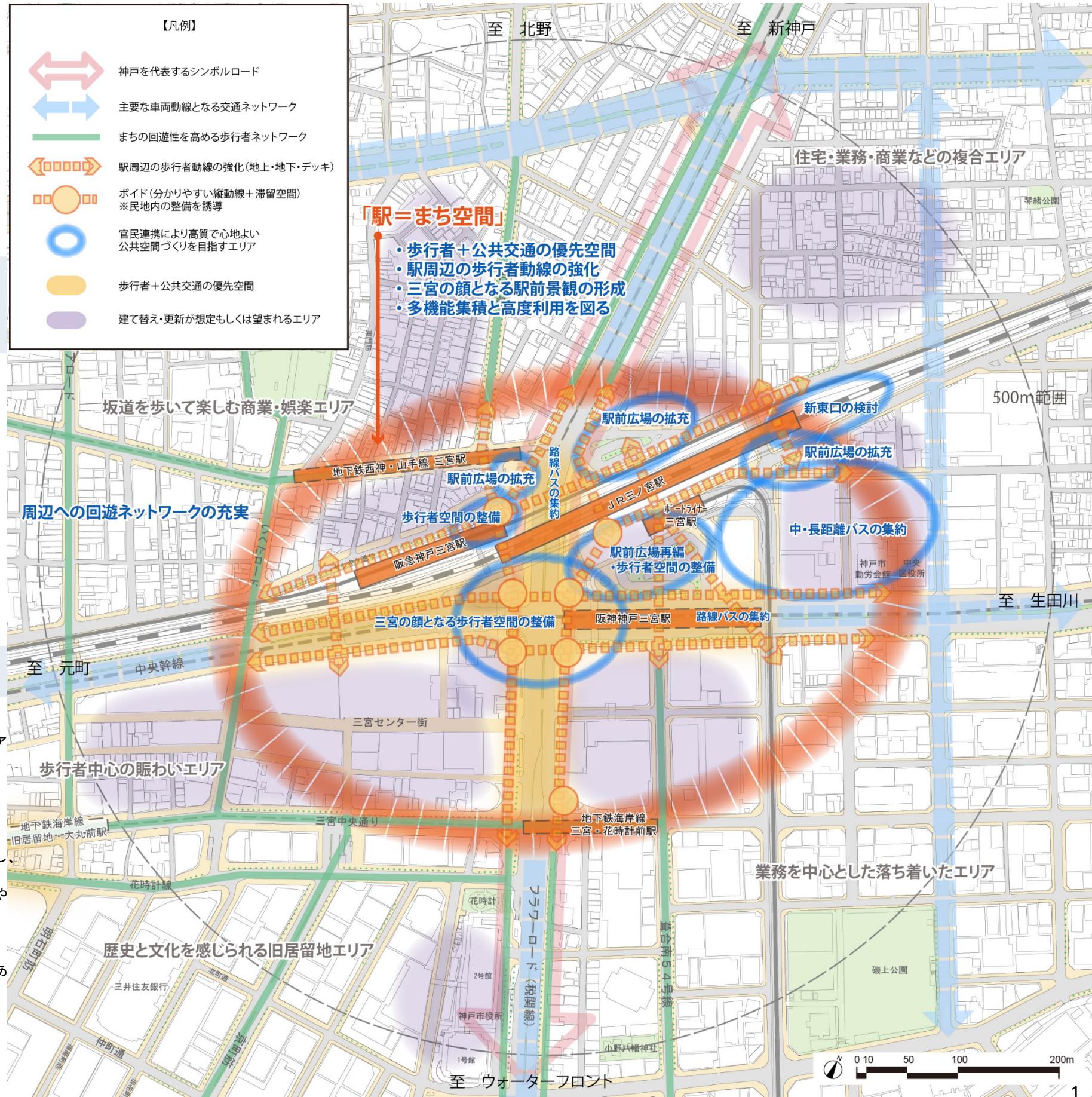
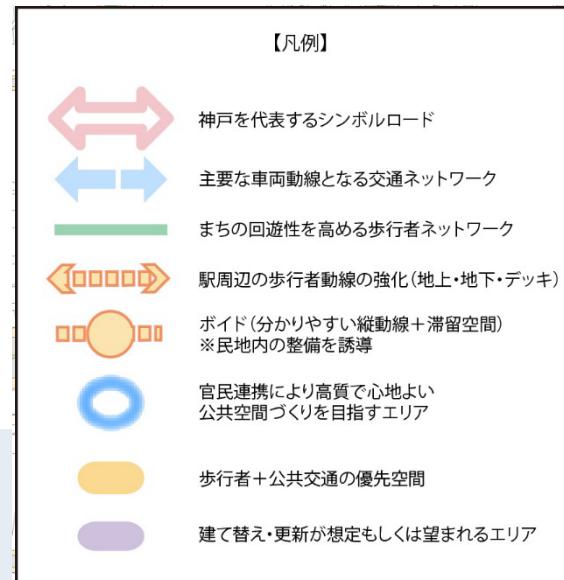
■神戸らしさを印象付ける街並みデザインの創出

- 海と山を感じられる眺望の確保や、神戸の歴史や文化の薫りが漂う風格のある沿道景観デザインの誘導

■地元協議会や市民と協働した

安全・安心で個性あふれるまちづくりの実現

- 既存の協議会や市民団体と連携した特色あるまちづくりの実践
- エリアマネジメントによる低炭素まちづくりやエリア防災への取り組み



重点的な取り組み2

歩行者空間拡充によるわかりやすく安全な乗り換え動線整備

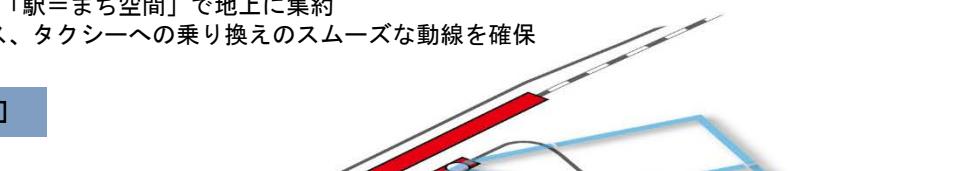
■既存3層ネットワークを強化するわかりやすい縦動線（ポイド）の整備

- 地下・デッキレベルの歩行者ネットワークと地上との接続を強化し、人の流れを安全・快適に地上部へ誘導することで、元町へのアーケードや北野坂、旧居留地など周辺の魅力スポットへの地上回遊動線への接続性を高める
- 周辺開発にあわせて、駅前空間内の歩行者ネットワーク結節点では、周囲から視認性が高くユニバーサルデザインに配慮した縦動線+滞留空間（以下、ポイド※）を整備（⇒駅前の景観形成や公共空間における歩行者空間の有効活用に配慮し、3層ネットワークをつなぐ縦動線を官民連携により民地内に整備する）

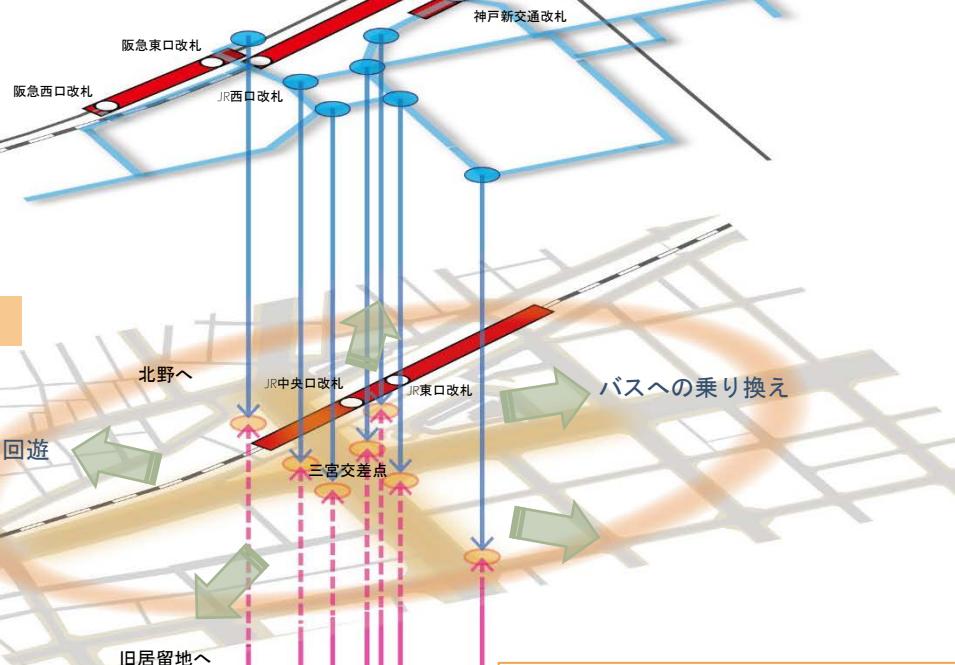
将来ネットワークおよびポイドの整備イメージ ※各階のネットワークについては現時点でのイメージ

- 〇駅からの集客を「駅=まち空間」で地上に集約
- 周辺のまちやバス、タクシーへの乗り換えのスムーズな動線を確保

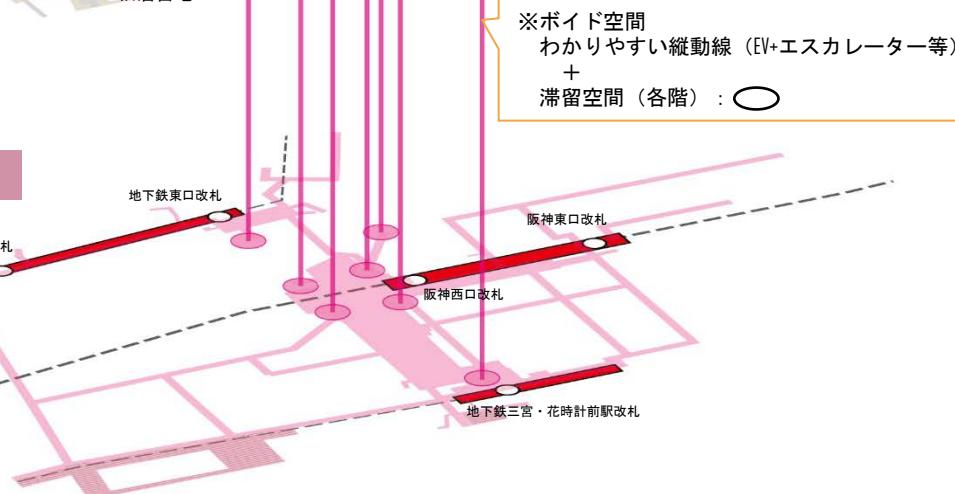
【デッキレベル】



【地上レベル】



【地下レベル】

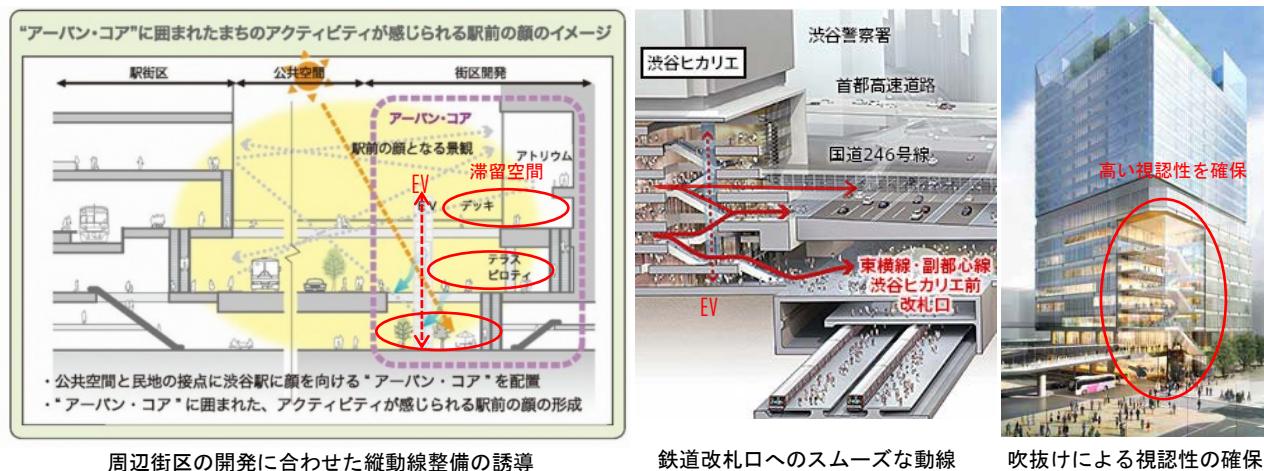


※ポイド空間
わかりやすい縦動線（EV+エスカレーター等）：↑
+
滞留空間（各階）：○

参考事例1) 地上・地下・デッキレベルをつなぐわかりやすい縦動線イメージ：神戸国際会館



参考事例2) 駅に顔を向けた視認性の高い縦動線イメージ：渋谷アーバン・コア



■駅からまちへを見通しを確保

- まちへのアクセスや乗り換え動線をわかりやすくするため、鉄道改札口やバス乗降場など交通上の主要拠点となる場所から次に行きたい方向やまちの構造が視認できる「見通し」を確保
- ユニバーサルデザインに配慮した動線整備
- 通路幅員の拡幅やデザイン、照明等による快適性の向上



重点的な取り組み3

玄関口に相応しい、公共空間と民地が一体的にデザインされた駅前景観の創出

■三宮の顔となる駅前景観を創出するための積極的なデザイン誘導の実施

- 三宮駅前において、既存の景観形成地域を拡充するなど、積極的に景観デザイン誘導を実施することを検討
- 駅前広場・道路空間などの公共空間と民地内の公共的空間を一体的なデザインとすることで、駅前空間全体に統一感を持たせる



シンボル性に乏しく、神戸らしさが感じられない駅前景観（三宮交差点）

参考事例）景観デザインの誘導イメージ：大丸有まちづくりガイドライン

公共空間に面した顔づくり、賑わい空間の創出

■公開空地ネットワーク型まちづくりのイメージ

「空地連続型」

- 空地の連続的配置
- 貫通通路の設置

「空地集約型」
(大手町拠点)

- 空地の集約的配置
- 地上・地下の一体的整備

サンクンガーデン（大手街ファーストスクエア）

拠点広場（東京サンケイビル メトロスクエア）

民地と公共空間の中間領域

広場空間

広場空間に面した顔づくり エントランスの開放感、賑わい

統一された街並みや低層部の賑わいが連続する沿道景観の形成

■街並み形成型まちづくりのイメージ

「街並み調和型」
(丸の内駅前広場、行幸通り、日比谷通り)

- 風格・統一感
- 壁面の連続性

「賑わい形成型」
(仲通り)

- 賑わい、憩い
- 文化・交流・活性化機能等の連続性

日比谷通り沿いの景観

仲通りの賑わい

民地と公共空間の中間領域

街路空間

車両規制による賑わいの創出 夜間景観、統一されたサイン

出典：「大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくりガイドライン2012」をもとに作成

重点的な取り組み6

神戸らしさを印象付ける街並みデザインの創出

■海と山を感じられる眺望の確保や、神戸の歴史や文化の薫りが漂う風格のある沿道景観デザインの誘導

神戸らしい景観イメージ

- 都市部では希少な緑の豊かさ、水際への開放感を体感できる眺望景観の確保、視点場の整備演出

六甲山系

ウォーターフロント

海、山がまちに近接

海・山への眺望を確保

- 神戸の歴史や文化の薫りが漂う、風格のある沿道景観デザイン誘導



縦長の開口部、垂直性もたらす上昇感による風格の創出

- 玄関口としてお出迎えの気持ちを表現するゲート空間の演出



街路に面した顔づくり（神戸・大丸）



明るめの色調、広告物コントロール（神戸・旧居留地）



夜間景観の更なる質の向上、暖かな電球色（ウィーン）



快適な歩行空間、統一された街並み（神戸・旧居留地）

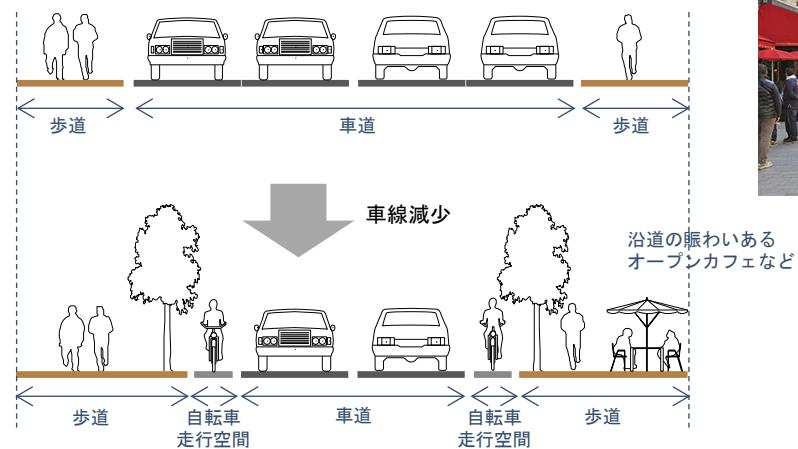
重点的な取り組み4

楽しく歩ける回遊ネットワークの形成と賑わいの創出

■ 徒歩圏内に点在する魅力ある賑わいスポットへの回遊性を高める歩行者ネットワークの構築

- 観光客も多く訪れる北野・旧居留地エリアや南京町・元町駅周辺などの魅力あるスポットと「駅＝まち空間」をスムーズにつなぐ歩行者ネットワークを形成
- 沿道の統一された街並みや低層部の連続する賑わいなど歩いて楽しい回遊性を付与
- 主要ネットワークとなる道路空間では積極的に歩道拡幅、自転車走行空間の整備および緑化などの環境整備を行い、安全で快適な歩行者環境を創出

道路空間の再配分イメージ

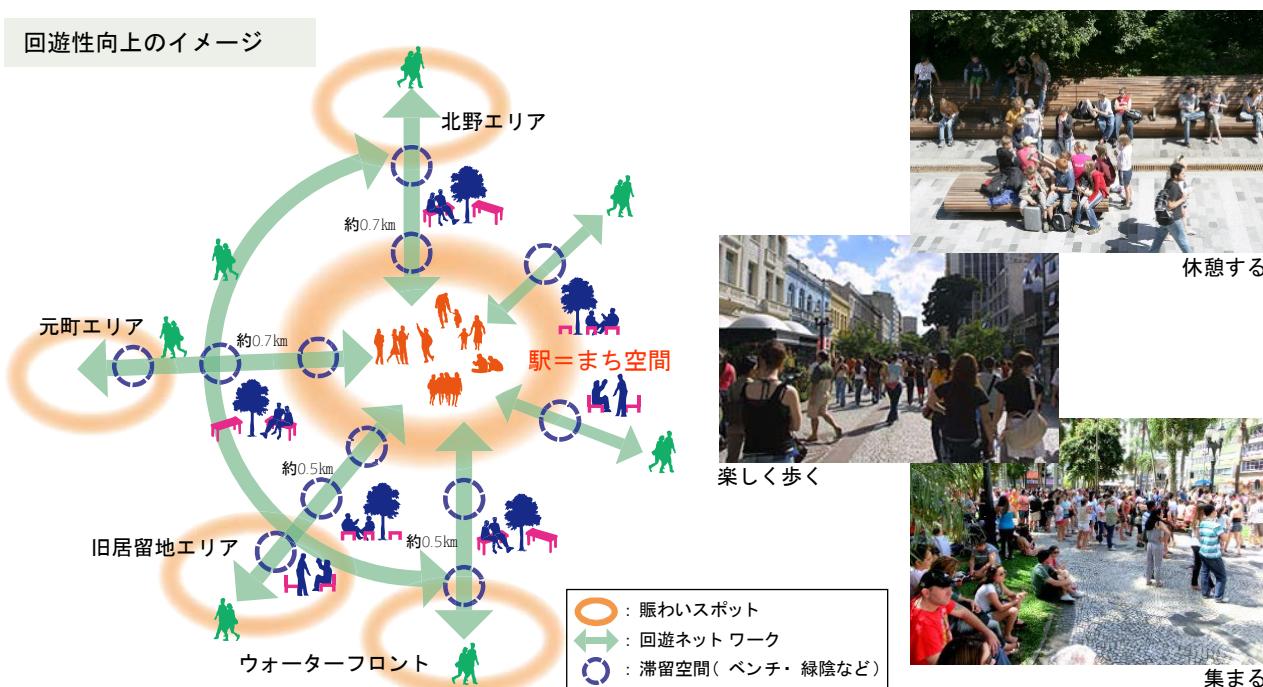


豊かな歩道空間

■ 市民や来街者が自由に憩い・集える滞留空間を創出

- まちの回遊性向上のために歩行者ネットワーク上には休憩などができる憩い・緑陰空間を整備
- 街区単位での共同化促進による、街角広場などの公開空地やゆとりある歩行空間の整備

回遊性向上のイメージ



重点的な取り組み5

街区再編によるまちの魅力を高める都市機能の更新

■ 老朽化が進展する駅前空間街区は、街区再編も視野に入れた再開発を促進し神戸の経済競争力や魅力を高める都市機能を強化

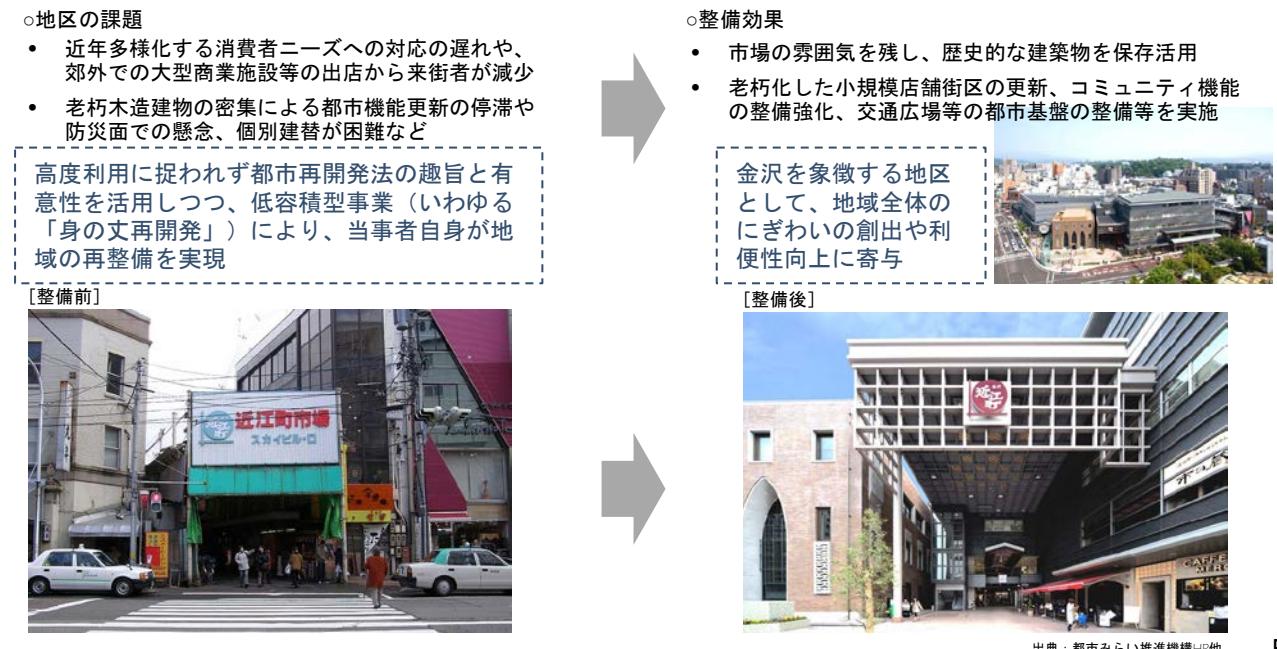
- 風格や気品ある建物デザイン、街区内で高質な公共空間の創出やそこでの賑わいの創出など、新しいまちのシンボリックな存在となるような開発を誘導
- 開発にあわせて、神戸経済の活性化や三宮への来街を促す魅力ある都市機能などの導入を推進

参考事例）まちの価値を高める街区再編のイメージ：NU茶屋町、NU茶屋町プラス（大阪市）



■ 小規模建物や老朽化の進む建物が混在するエリアは、街区単位での共同化や建替えによる豊かな都市空間を創出

参考事例）身の丈にあった再開発による都市機能の更新のイメージ：近江町いちば館（金沢市）



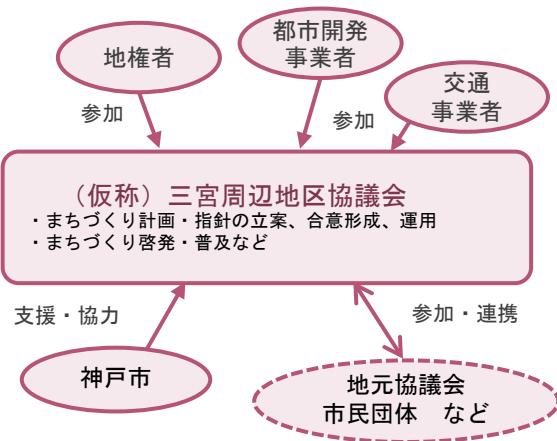
重点的な取り組み7

地元協議会や市民と協働した安全・安心で個性あふれるまちづくりの実現

■既存の協議会や市民団体と連携した特色あるまちづくりの実践

- 持続的なエリアマネジメント活動を展開する中核的な主体として協議会を組成、まちづくりのルールやまちの運営管理のあり方等を検討
- 実際にエリアマネジメントを実施していく組織体等を立ち上げ活動を継続

体制や運営イメージ



参考事例）活動イメージ：札幌大通りまちづくり株式会社

主な活動内容



出典：札幌大通りまちづくり株式会社HP

■エリアマネジメントによる低炭素まちづくりやエリア防災への取り組み

低炭素まちづくりへの取り組みイメージ

- 持続可能で低炭素な三宮地区のリノベーションを牽引していくために、既存の地下空間を活用して面的エネルギー利用を可能とする管路ネットワークを形成
- 建替えや設備更新などに合わせて順次ビル群を接続し、有機的に拡大・成長する「次世代スマートエネルギーインフラ」構築を目指す



【用語説明】

- BEMS：ビルエネルギーマネジメントシステム（ビル内の電力需要と電力供給のコントロールしてエネルギー効率を高めるシステム）
- CEMS：地域エネルギーマネジメントシステム（地域内の電力需要と電力供給をコントロールしてエネルギー効率を高めるシステム）
- コジェネ（熱電供給）：天然ガス、石油、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム